

CHINO

ネットワークロガー KE3000

取付・結線

取扱説明書

INSTRUCTIONS

この度は、ネットワークロガーKE3000シリーズをお買い上げ頂きありがとうございます。
本説明書は、本器をご使用する場合に必要な基本的な**取付・結線**について説明してあります。
本器をパソコン等と組み合わせて使用する際は、別冊の総合取扱説明書KE3-11-□をお読み下さい。

⚠ 商品の無償修理保証期間

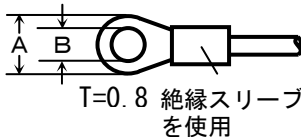
本器の無償修理保証期間は、お買い上げ後1年です。保証期間中に取扱説明書、機器貼付ラベル等の注意書を厳守した正常な使用状態で、機器が故障した場合には無償修理します。

但し、下記に該当する故障は保証期間中でも有償修理になります。

1. 誤使用、誤接続、不当な修理や改造による故障及び損傷。
2. 火災・地震・風水害・落雷・その他の天変地異、公害・塩害・ガス害（硫化水素等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障、及び損傷。

1 安全にご使用いただくために(⚠警告)

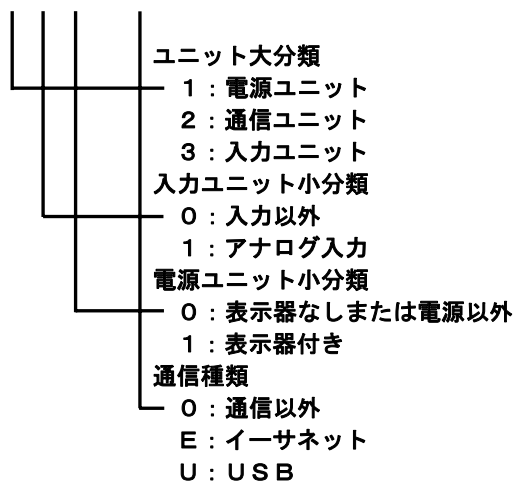
本器はコンポーネントタイプです。計装パネルや装置に組み込んで、使用者が電源端子などに直接触れられない処置を必ず講じてご使用して下さい。

1. 取付場所	●本器は、防滴・防塵構造ではありません。必ず屋内に設置されたパネル内のDINレール（35 mm）に、取り付けてご使用して下さい。				
2. 端子カバー	●感電防止のため、使用者が端子部に直接触れられない様に、必ず端子カバーを装着してご使用下さい。				
3. 結線の端末処理	●各端子に結線する際は、必ず絶縁スリーブ付のO形圧着端子加工したコードで結線して下さい。				
	端子台	ねじ径	締付トルク	A	B
	電源・保護導体端子	M4	1.2 N・m	8.4 以下	4.3 以上
	通信端子	M3.5	0.8 N・m	8 以下	3.7 以上
	上記以外の端子	M3.5	0.6 N・m	7 以下	3.7 以上
					
4. 供給電源元には遮断装置を設置	●本器には、交換できる過電流保護デバイスがありません。本器に供給する電源には、過電流保護デバイスを3 m以内の手の届きやすい所に設けて下さい。上記切断装置は、IEC947-1、IEC947-3に適合するものを使用して下さい。				
5. 電源電圧・接地の確認	●電源を供給する前に、正しく結線されているか、指定された電源電圧と供給電源が合っているか、接地されているかを必ずご確認して下さい。				
6. 可燃性ガス雰囲気での使用禁止	●可燃性ガス・腐食性ガス雰囲気での使用・保管は禁止です。				
7. 修理および改造	●メンテナンスが必要な時は、最寄りの当社支店・営業所、またはお買い上げ頂いた販売店にご依頼下さい。当社が認定したサービス員以外は、部品交換や修理・改造は行わないで下さい。				

2 形式コード

本器は機能毎にユニット構成しており、それぞれの次のような形式コードが付加されています。ケース上部に形式名板が貼付されていますのでお確かめ下さい。

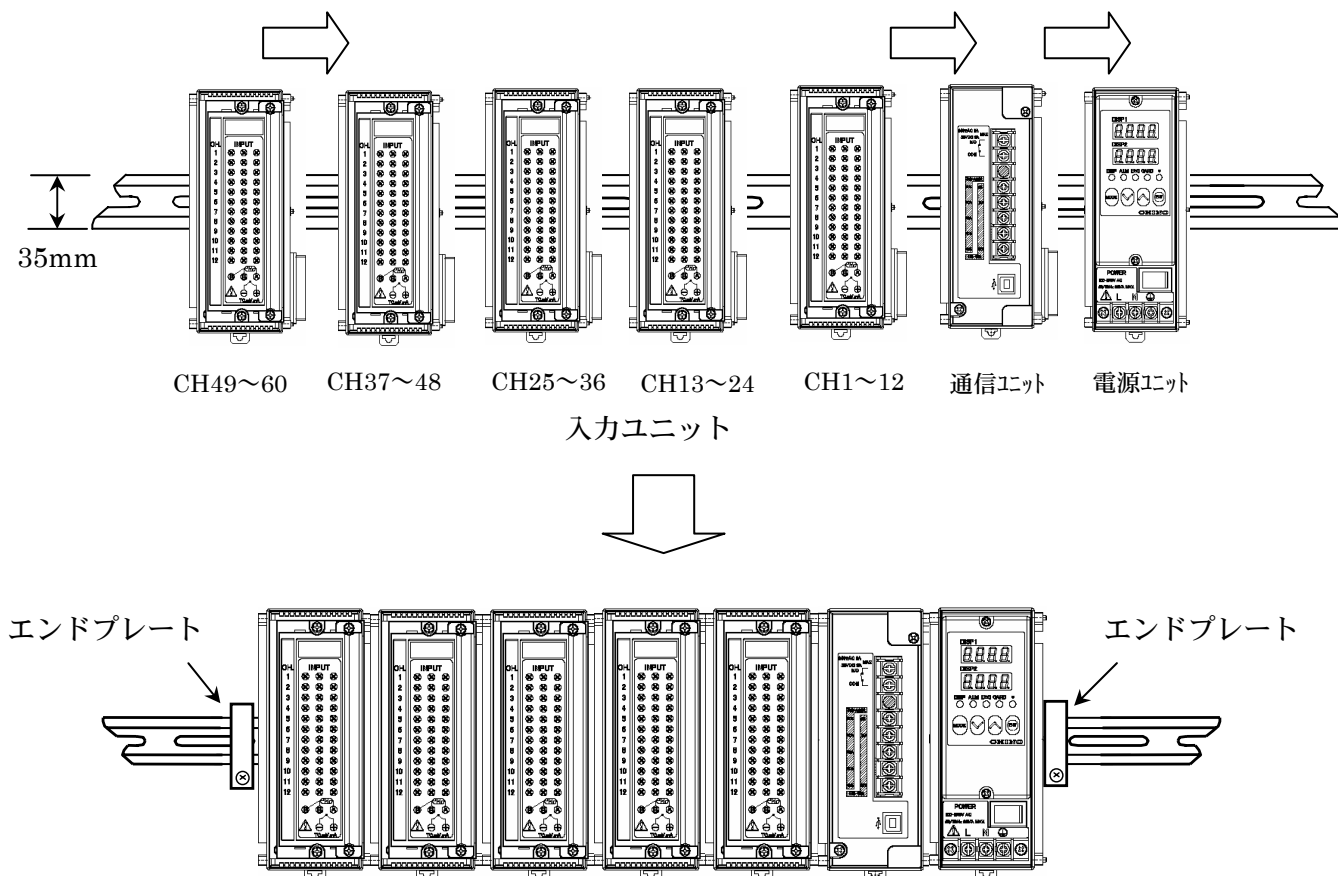
KE3□□□-□□□



例) 電源部(電源ユニット)・・・KE3101-000 (表示付) またはKE3100-000 (表示無し)
 イーサネット部(イーサネットユニット)・・・KE3200-E00
 USB部(USBユニット)・・・KE3200-U00
 入力部(入力ユニット)・・・KE3310-000

3 取付

本器は、巾35mmのDINレールに正面右から電源ユニット、通信ユニット、入力ユニットの順番で1台ずつ取付けたあと、電源ユニット方向にスライドさせて、すべてのユニットを連結し、動かない様にエンドプレート（市販品）で固定して下さい。



本器を取外すときは、エンドプレートをはずし、取りつけた時と逆に1台ずつ左方向にスライドさせ連結をはずします。

⚠ 注意

本器は、鉛直面に本器底部を下にして取付けて下さい。これ以外の取付け方法では、指示精度に影響を与える場合があります。

4 結 線

4.1 ⚠ 結線上のご注意

1. 供給元の電源

- 本器へ供給する電源は、誤動作を防ぐため波形にひずみがなく、電圧の安定した単相電源をお使い下さい。

2. 強電回路から離す

- 入・出力の結線は、動力線などの強電回路と近接や並行することを避けて下さい。近接や並行する場合は50cm以上離して下さい。

3. 熱電対入力は熱源から離す

- 熱電対入力は基準点補償の誤差を少なくするため、特に端子部を熱源(発熱する物体)から離して下さい。また、直射日光などの輻射も避けて下さい。

4. ノイズ源から遠避ける

- ノイズの発生源からは、できるだけ遠避けて下さい。思わぬ故障になる場合があります。ノイズ源から遠避けられない場合は対策を施して下さい。

主な発生源	● 電磁開閉器など ● 波形歪みのある電源ライン ● インバータ ● サイリスタレギュレータ
対 策	電源、入・出力端子間にノイズフィルタを挿入します。CR フィルタが多く用いられます。

5. 圧着端子を使用

- ① 端子のゆるみや外れ、端子間の短絡防止のため結線コードの端末は、圧着端子を付けて下さい。
- ② 圧着端子は、感電防止のため絶縁スリーブ付をご使用して下さい。

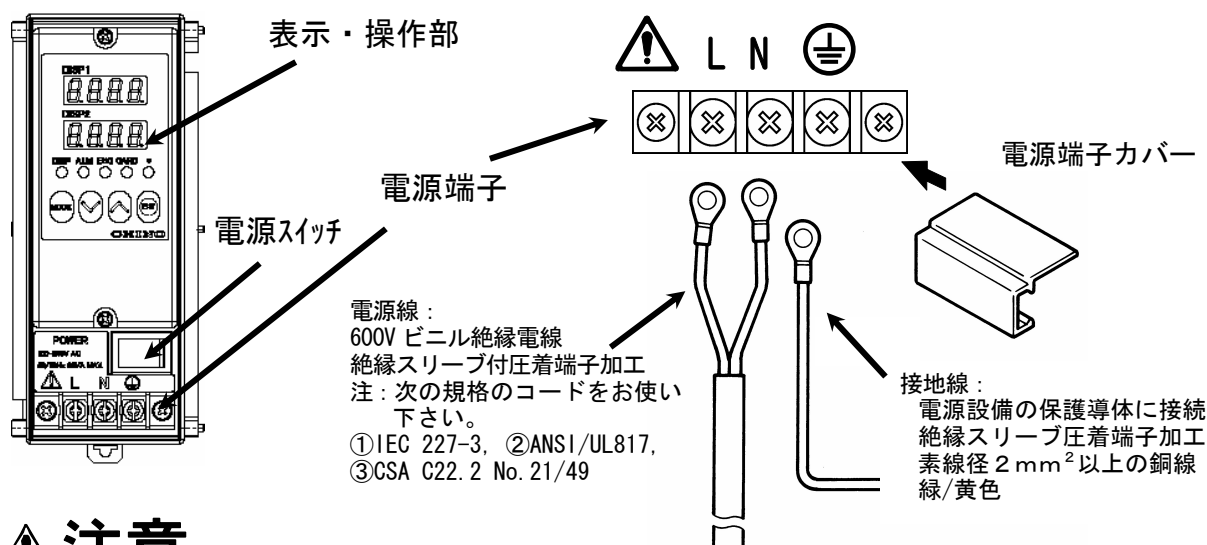
6. 未使用端子

- 未使用端子は中継用に使わないで下さい。電気回路を損傷する恐れがあります
また、未使用の入力端子は、外来ノイズの影響を避けるため、+端子と-端子を短絡してください。

4.2 各ユニットの結線

各ユニットの結線は、次の通りに行ないます。

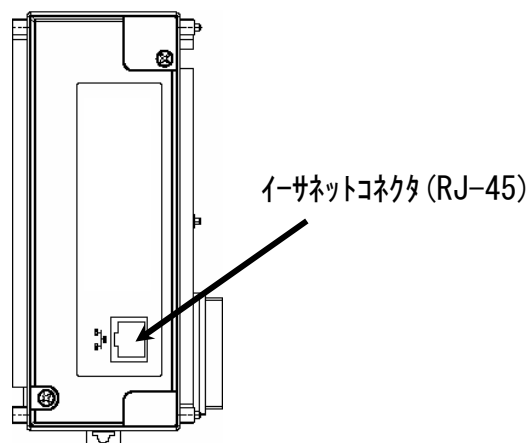
4.2.1 電源ユニット (KE310□-000) の結線



⚠ 注意

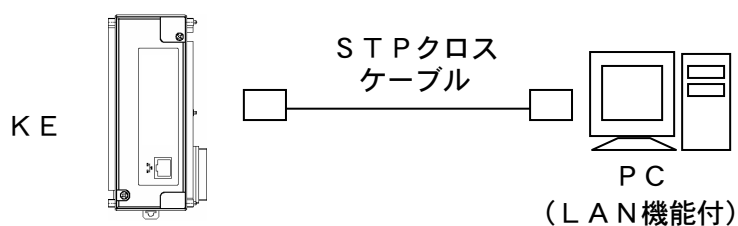
1. 電源・保護導体端子の結線の前に、感電防止のため供給元の電源は必ず OFF にして下さい。
2. 本器の電源電圧は、電源端子部に表示しています。表示以外の電圧を入れると事故を起こすか動作不良になります。また、電源にノイズが混入する場合は、ノイズカットトランスの設置などの対策をして下さい
3. 結線後の電源端子部には、100-240V AC の電圧が印加されています。結線後は、感電防止のため電源端子カバーを必ず取付けて下さい。

4.2.2 通信ユニット・イーサネット（KE3200-E00）の結線



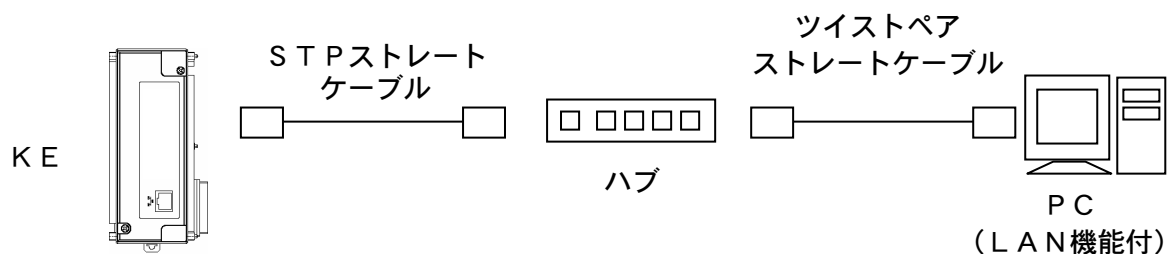
【PCと1対1で接続する場合】

PCとイーサネットIFを1対1で接続する場合は、クロスタイプのSTPケーブルを使用します。

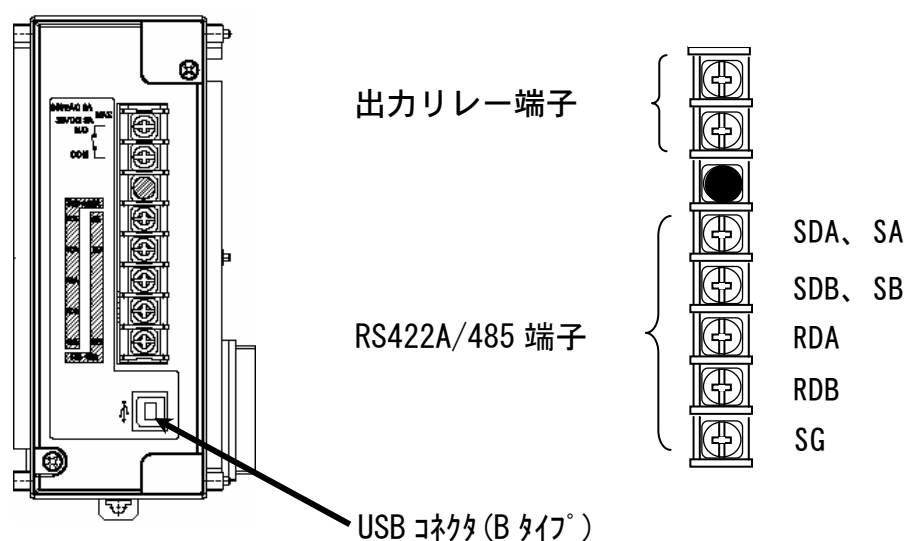


【PCとN対Nで接続する場合】

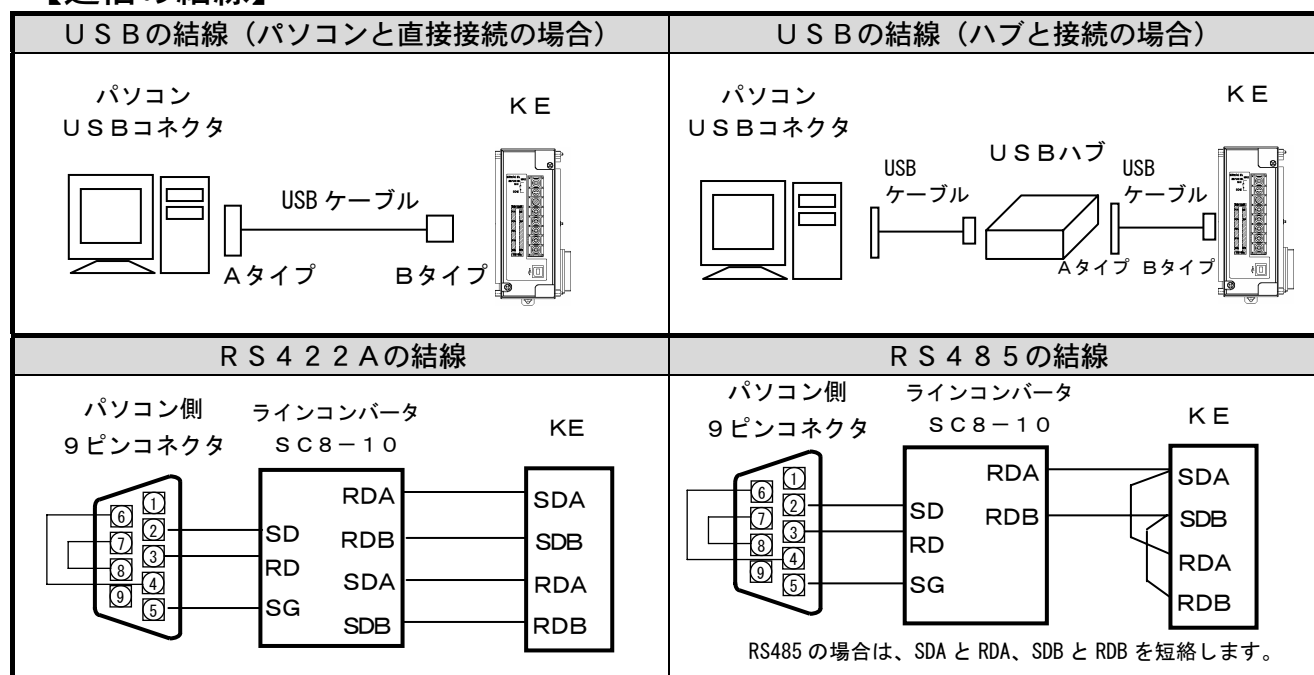
複数台のPCまたは既存のLANに接続する場合は、スイッチングハブを使用して、ハブとイーサネットユニット間にはストレートタイプのSTPケーブルを使用します。



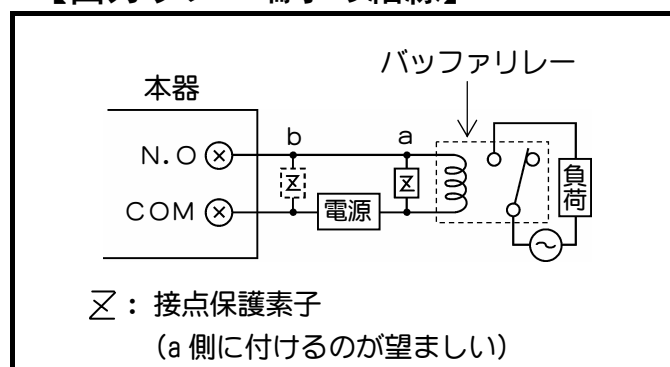
4. 2. 3 通信ユニット・U S B（KE3200-U00）の結線



【通信の結線】



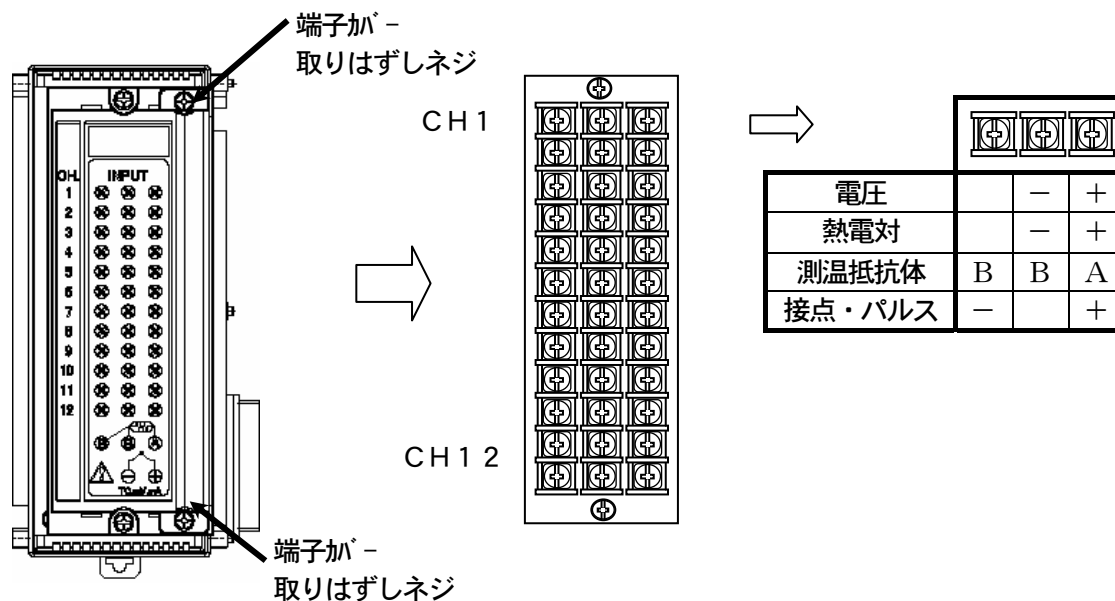
【出力リレー端子の結線】



⚠ 注意

1. 警報出力端子には、指定の接点容量以下の負荷を接続して下さい。
2. 感電防止のため、供給元の電源とバッファリレー用の電源を OFF にしてから結線して下さい。
① 負荷へは、バッファリレーを介して結線します。
② 出力端子へは、絶縁スリーブ付圧着端子を付けて結線します。
3. 結線後の警報出力端子には、バッファリレー用電源が印加され、触れると感電します。結線後は、必ず端子カバーを取付けて下さい。

4.2.4 入力ユニット (KE3310-000) の結線

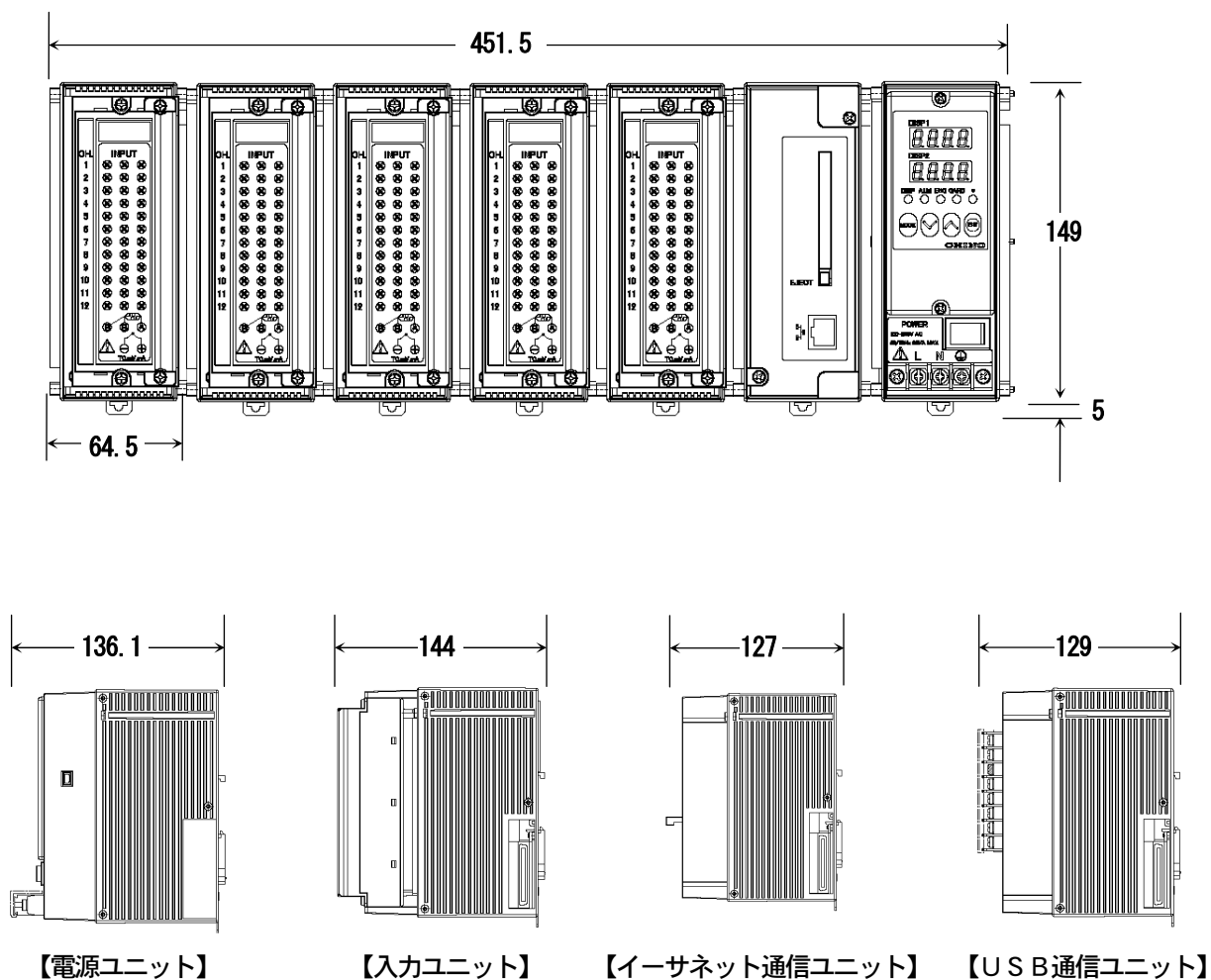


⚠ 注意

- 入力端子には、許容入力電圧以下の電圧を接続して下さい。
 - ①電圧、熱電対入力… $\pm 10\text{VDC}$
 - ②測温抵抗体入力 … $\pm 6\text{VDC}$
- 感電防止のため、供給元の電源をOFFにしてから結線して下さい。
- 入力端子には、絶縁スリーブ付圧着端子を付けて結線します。
- 直流電圧（電流）入力**の結線は、ノイズ対策のための計装用ツイスト線をご使用して下さい。電流入力は、測定したいチャンネルに電流入力受信抵抗を接続してから結線します。
- 熱電対入力**の結線は、本器まで必ず熱電対線(または補償導線)で結線して下さい。途中から銅導線で結線すると大きな測定誤差を生じます。なお、一対の熱電対線を他の計器(調節計など)と並列接続して使うと、トラブルの原因になりますので避けて下さい。
- 測温抵抗体入力**の結線は、測定誤差を防ぐため、入力線は各線の抵抗値が等しい3芯コードを使用して下さい。なお、1本の測温抵抗体を他の計器(調節計など)と並列接続はできません。
- 測定入力端子は、コモンモードノイズにより、高い電圧の加わる可能性があります。ノイズ許容値は 30V AC または 60VDC 以下です。許容値以下であることを確かめて下さい。結線後は、感電防止や入力線の保護のため端子カバーを取付けて下さい。熱電対入力では、端子カバーを取付ける事により、基準点補償の誤差が小さくなります。

5 外形寸法

【入力 60 点の場合】



単位：mm

CHINO
CHINO CORPORATION

本社 〒173-8632 東京都板橋区熊野町32-8 TEL (03) 3956-2111 (大代) FAX (03) 3956-6762

製品に関するお問い合わせは
コールセンター(お客様製品相談室) **0120-41-2070**

または最寄りの支店・営業所、代理店までご連絡下さい。

※お問い合わせ時は形式コードと製造番号をお手元にご用意下さい。

【受付時間】月曜日～金曜日(祝日、弊社休業日を除く) 9:00～12:00/13:00～18:00

Printed in Japan